

サイエンスカフェの概要について（事後報告）  
「データサイエンスで政策の質を向上させる」

1. 開催日時：令和6（2024）年12月14日（土）13時00分～15時00分

2. 開催場所：同志社大学新町キャンパス臨光館204教室

3. 関係団体等：

（主催） 日本学術会議政治学委員会

（共催） 公共選択学会

4. 役割

（挨拶） 鈴木 基史（京都大学大学院法学研究科教授／日本学術会議第一部会員（政治学委員長））

（司会） 同上

（講師） 谷口 尚子（慶応義塾大学法学部教授（日本学術会議第一部会員））

秦 正樹（大阪経済大学情報社会学部准教授）

伊藤 岳（大阪公立大学大学院経済学研究科経済学専攻准教授）

5. 概要：

ビッグデータやAIという最新のデータサイエンスの技術は社会科学の様々な分野に取り入れられ、研究の精度の向上に重要な役割を演じています。こうした学問的取組は、公的機関や企業などが実施する「証拠をもとにした政策決定」（EBPM：Evidence-based Policy Making）を支援し、政策立案や実施の向上に貢献することも期待されています。

今回のサイエンスカフェは、大学院生・学部生・高校生を対象に開催します。データサイエンスの技術を活用することで政策の質を向上させる方法について、3名の専門家を招聘し、デモンストレーションを交えた講演を通じて、研究の面白さや社会実装を参加者に実感してもらうことを目指します。

6. 参加人数：

（講演者等）4名

（その他の参加者）28名

7. 特記事項：

当該サイエンスカフェは、研究に興味をもってもらうことを目的とし、28名の大学院生・学部生・高校生の参加を得て開催した。講演後の会場からの多数の質問に講演者が丁寧に応答した後、3つの小グループに分かれて、講演内容や研究者への道などに関して講演者の体験を交えて議論した。